
はじめに

社会福祉基礎構造改革による措置から契約への転換、社会福祉事業へ多様な主体の参入等、社会福祉法人をめぐる環境が大きな転換期を迎えています。

このような状況のなか、社会福祉法人・福祉施設には社会的な信頼を基礎として、真に地域の社会福祉の中核的な担い手としての役割・機能をこれまで以上に発揮していくことが求められています。

全国社会福祉施設経営者協議会では社会福祉法人が自らの使命に基づく先駆的・開拓的なサービスのさらなる実践を進め、国民や地域住民の目に見える形でアピールし、その存在意義について広く理解を得ることを目的に「1法人(施設)1実践」事業を提唱・推進してまいりました。

昨年7月には、各県経営協ならびに会員の皆様にご協力いただき、社会福祉法人における地域貢献活動事例を収集し、第22回全国社会福祉施設経営者大会において、平成15年9月1日現在の収集状況(33都道府県、1631事例)を報告させていただきました。その後も多くの事例をお寄せいただき、現在、42都道府県から約2350事例を収集することができました。

このたび、各法人において地域貢献に向けた活動を実践するうえで参考としてご活用いただくべく、上記活動事例について以下の3つの視点、

1. 地域ニーズへの対応
 - (1) 施設機能などの地域還元
 - (2) 個別ニーズに対応した柔軟なサービス提供
2. 福祉教育・人材育成
3. 関係機関・団体との連携

から分類・整理を行い、また、多くの法人で取り組みが期待される事例、先駆性・開拓性が高い事例について49事例を抽出し、事例集としてとりまとめました。

本事例集が全国の社会福祉法人における地域の福祉向上にむけた取り組みを推進するうえでの一助となれば幸甚に存じます。

最後になりましたが、事例集の作成にあたりご協力をいただきました会員法人ならびに各県経営協の皆様にご心より御礼申し上げます。

平成16年3月

全国社会福祉施設経営者協議会
会長 高岡 國士
法人制度対策委員会
委員長 廣江 研
